



その他の [拡張機能 (Advanced Features)] メニュー オプション

次の各項では、[拡張機能 (Advanced Features)] メニュー オプションについて簡単に説明します。これらのオプションの詳細については、他のマニュアルで説明されています。そのような [拡張機能 (Advanced Features)] メニュー オプションそれぞれについて、該当する他のマニュアルを示しています。

- 「SAF (コール制御ディスカバリ)」 (P.63-1)
- 「Cisco クラスタ間のエクステンションモビリティ」 (P.63-1)
- 「Cisco Intercompany Media Engine」 (P.63-2)
- 「フォールバック設定」 (P.63-2)
- 「バーチャルプライベート ネットワークの設定」 (P.63-2)

SAF (コール制御ディスカバリ)

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、[拡張機能 (Advanced Features)] > [SAF] メニュー パスのサブメニューを使用して、コール制御ディスカバリを設定します。

コール制御ディスカバリ機能は、Service Advertisement Framework (SAF) ネットワーク サービス (シスコ独自のサービス) を利用して、コール間エージェント情報の動的なプロビジョニングを容易にします。SAF ネットワーク サービスの採用により、コール制御ディスカバリ機能では、Cisco Unified Communications Manager は自身を他の重要な属性 (Cisco Unified Communications Manager の管理ページで設定される電話番号パターンなど) とともにアドバタイズできます。そのため、同じく SAF ネットワークを使用する他のコール制御エンティティは、アドバタイズされた情報を使用してルーティングの動作を動的に設定し、適合させることができます。同様に、SAF を使用するすべてのエンティティは、所有する電話番号パターンを他の重要な情報とともにアドバタイズします。したがって、他のリモート コール制御エンティティは、その情報を学習してコールのルーティングの動作を適合させることができます。

詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「[コール制御ディスカバリ](#)」の章を参照してください。

Cisco クラスタ間のエクステンションモビリティ

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、[拡張機能 (Advanced Features)] > [EMCC] メニュー パスのサブメニューを使用して、Cisco クラスタ間のエクステンションモビリティ機能を設定します。

Cisco クラスタ間のエクステンションモビリティ機能を使用すると、ある Cisco Unified Communications Manager クラスタ（ホーム クラスタ）のエンタープライズ ユーザが、外出先で別の Cisco Unified Communications Manager クラスタ（訪問先クラスタ）の Cisco Unified IP Phone に、ホーム オフィスで IP Phone を使用しているかのようにログインできます。

詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド*』の「[Cisco クラスタ間のエクステンションモビリティ](#)」の章を参照してください。



(注)

ユーザが単一のクラスタ内に留まる場合、ユーザにエクステンション モビリティ機能を提供するには Cisco エクステンション モビリティ機能を設定するだけで十分です。Cisco エクステンション モビリティ機能の説明および設定の詳細については、「[Cisco エクステンション モビリティ](#)」の章を参照してください。

Cisco Intercompany Media Engine

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、[拡張機能(Advanced Features)] > [Intercompany Media Service] メニュー パスのサブメニューを使用して、Cisco Intercompany Media Engine を設定します。

Cisco Intercompany Media Engine では、ピアツーピア技術を既存の Public Switched Telephone Network (PSTN; 公衆電話交換網) インフラストラクチャに結合して、企業間に直接 IP 接続を確立できます。Cisco Intercompany Media Engine を使用すると、Cisco Unified Communications Manager をすでに配置している企業は企業間に動的な Session Initiation Protocol (SIP) トランクを構築し、PSTN ではなくインターネット経由で通信を行うことができるようになります。

詳細については、『*Cisco Intercompany Media Engine Installation and Configuration Guide*』を参照してください。

フォールバック設定

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、[拡張機能(Advanced Features)] > [フォールバック(Fallback)] メニュー パスのサブメニューを使用して、フォールバック情報を設定します。

Cisco Intercompany Media Engine の設定は、フォールバック情報の設定で構成されています。

詳細については、『*Cisco Intercompany Media Engine Installation and Configuration Guide*』を参照してください。

バーチャル プライベート ネットワークの設定

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、[拡張機能(Advanced Features)] > [VPN] メニュー パスのサブメニューを使用して、VPN 機能を設定します。

Cisco Unified IP Phone の Cisco VPN クライアントはシスコの他の在宅勤務用製品を補完するもので、お客様が在宅勤務者に関連する問題を解決するのに役立ちます。

詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager セキュリティ ガイド*』を参照してください。